

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はりきゅう実技8	実技	2	60	はりきゅう実技、東洋医学臨床論 など
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3学年	朝岡 徹	■ 有 □ 無	日々の鍼灸臨床実務より、臨床場面での疾患鑑別、及び施術に伴う知識、技術を学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
・今まで学習、習得した内容をふまえ患者の状態にそった治療能力を養う。 ・施術者としての責任を認識させる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
・鍼灸治療を様々な面から授業を進めていきます。 ・高麗手指鍼、背候診、頭鍼、散鍼、皮内鍼、坐骨神経(梨状筋)刺鍼などを行います。 ・臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学、経絡経穴などの復習をおこなうようにして下さい。					
教科書・参考書					
・プリントを配布します。					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】 ●経絡経穴概論の教科書を持参すること。 ●施術について、医療事故を起こさないように十分注意すること。 ●強い刺激になる可能性があります。体調がすぐれないようであればすぐに担当教員に申し出ること。 ●かっつな行動は慎むこと。 ●授業中、電子機器は一切さわらないこと。(必要があれば事前に申し出ること)					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	定期試験により80%の成績評価をおこなう。			
その他	20	授業態度により20%の成績評価をおこなう。 (私語、授業内容に関係のない行為を行った場合、授業に対する積極性について総合的に判断する) ※ただし、電子機器を使用した場合には-40点を減点する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション		/	朝岡
2		頭痛①		/	朝岡
3		頭痛②		/	朝岡
4		顔面痛①		/	朝岡
5		顔面痛②		/	朝岡
6		顔面麻痺①		/	朝岡
7		顔面麻痺②		/	朝岡
8		背候診		/	朝岡
9		耳鳴りと難聴①		/	朝岡
10		耳鳴りと難聴②		/	朝岡

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		胸痛①		/	朝岡
12		胸痛②		/	朝岡
13		試験練習		/	朝岡
14		前期試験		/	朝岡
15		前期試験		/	朝岡
16		不眠		/	朝岡
17		高血圧症		/	朝岡
18		高麗手指鍼①		/	朝岡
19		高麗手指鍼②		/	朝岡
20		のぼせと冷え①		/	朝岡

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		のぼせと冷え②		/	朝岡
22		小児の症状①		/	朝岡
23		小児の症状②		/	朝岡
24		運動麻痺①		/	朝岡
25		運動麻痺②		/	朝岡
26		試験練習		/	朝岡
27		後期試験		/	朝岡
28		後期試験		/	朝岡
29		総合実習		/	朝岡
30		総合実習		/	朝岡